

みらいのまなび共創会議

ICT CONNECT 21

Collaborative Open Network for New Educational Concepts with Technologies

プログラミング教育 フレームワークSWG 活動報告

2018/6/22

プログラミング教育フレームワークSWGリーダー
小田理代

※Webサイト掲載にあたり、当日の資料を一部変更しています。

内容

1. フレームワークSWGとは？
2. 課題認識
3. フレームワークSWGの目的
4. フレームワークSWGの対象
5. フレームワークSWGの活動
6. フレームワークSWGの体制
7. キックオフ会の実施
8. 今後のスケジュール

フレームワークSWGとは？

- 2020年度から小学校段階で始まるプログラミング教育の導入に向け、実践事例を収集し、分類整理して体系化し、フレームワークを作成
- 2018年6月13日に第1回キックオフを実施



課題認識

課題 認識 1

指導案事例の共有が相次ぐ。「量」から「質」への転換が課題。

課題 認識 2

プログラミング教材が多数出ているが、教育委員会や現場の先生がそれら全ての機能や特徴を把握するのは難しい。

フレームワークSWGの目的

- 指導案、プログラミング教材の標準規格を開発。
- 企業がプログラミング教材と指導案を作成する際のデファクトスタンダードにする。



教育委員会や学校がプログラミング教育を実施する際の指標となるように。

フレームワークSWGの対象

- 教育課程内（特に小・中学校）におけるサービス
- プログラミング教育の指導案とプログラミング教材（ソフト、ハード）

小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類（例）

教育課程内のプログラミング教育

A：学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの
（算数：[第5学年]B 図形(1)正多角形、理科：[第6学年]A 物質・エネルギー(4)電気の利用、総合的な学習の時間：情報に関する探究的な学習）

B：学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの

C：各学校の裁量により実施するもの
（A、B、D以外で、教育課程内で実施するもの）

D：クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの

教育課程外のプログラミング教育

E：学校を会場とするが、教育課程外のもの

F：学校外でのプログラミングの学習機会



本SWGの対象

出典：小学校を中心としたプログラミング教育ポータル
<https://miraino-manabi.jp/>

フレームワークSWGの活動

SWG参加企業

フレームワーク開発

ICONのサイト

短期



- ・プログラミング教育の指導案
- ・プログラミング教材

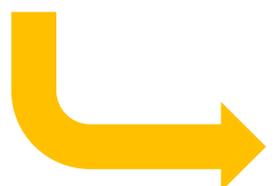


フレームワークの発表
フレームワークに基づき
分類した事例の掲載

フレームワーク利用
企業の増加



フレームワーク運営



検証



フレームワークの検証

様々な指導案・教材共有サイト



認証マーク等を付けて
指導案、教材を掲載

中長期

中長期の活動は案レベル。
今後活動の中でどこまで
行つか検討

フレームワークに基づき審査



出典：小学校を中心としたプログラミング教育ポータル
<https://miraino-manabi.jp/>

フレームワークSWGの体制

- 株式会社ベネッセコーポレーション（リーダー）
- 大日本印刷株式会社（サブリーダー）
- 株式会社学研ホールディングス
- 株式会社ソニー・グローバルエデュケーション
- シャープマーケティングジャパン株式会社
- 株式会社内田洋行
- ヤマハ株式会社
- 株式会社増進会ホールディングス

キックオフ会の実施

日時：6月13日 17時-19時

場所：ICT CONNECT 21 オフィス

アジェンダ：2時間

- 企画紹介（15分）
- 各社の取り組み紹介（10分×8社）
- フレームワークの枠組みの検討（20分）
- 次の定例会の日程検討（5分）

懇親会、盛り上がりました
コミュニケーションはSlack